

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フォレストプレイス II 街区(04棟)	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市東区香椎照葉六丁目	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、景観計画地区(一般)	平均居住人員	330 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2019年10月2日
敷地面積	3,225 m ²	作成者	牧 敦司
建築面積	1,110 m ²	確認日	2019年10月4日
延床面積	9,214 m ²	確認者	牧 敦司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 独自の環境配慮指針を有するアイランドシティ地区において、環境配慮指針やデザインガイドラインに沿って計画を進めている。緑化率30%超の敷地内緑化、ガスコージェネレーションシステムの導入など、特に環境に配慮した計画としている。		その他 アイランドシティ内での住宅供給や、TCAなどの住民参加の取り組みは、「アジア・グリーン健康住宅モデル賞」や、日本都市計画学会の「九州まちづくり賞」、「2018年アジア都市景観賞」など多数の景観や環境づく
Q1 室内環境 開口部は複層ガラスとし温熱環境の向上に配慮した。また、内装材は全てF☆☆☆☆の健康素材を採用している。	Q2 サービス性能 福祉のまちづくり条例の誘導基準相当のバリアフリー性能で、お年寄りから子育て世代まで全ての人に優しい性能を保っている。また、モデルルームを建設する中で、計画内容を確認し、機能的で使いやすい建物としている。	Q3 室外環境(敷地内) 計画にあたり、街全体で生物多様性に配慮した外部環境づくりに掛けている。また、街角広場の設定など地域に開かれた外部環境を計画している。
LR1 エネルギー 省エネルギー計画書の中で、各住戸が一次エネルギー消費基準を満たしている事を確認している。また、LED照明やエネルギー消費量の少ない設備機器を導入し、省エネに努める一方で、燃料電池(エネファーム)の全戸設置で創エネもおこなっている。	LR2 資源・マテリアル F☆☆☆☆の内装素材などの資源マテリアルの採用をおこなっている。	LR3 敷地外環境 街区レベルで、緑地率30パーセントを実現する緑豊かな外部環境に囲まれている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される